

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	保健	1	1	クラス単位

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

<p>科目の目標</p> <p>保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	
授業中における生徒の反応や授業ノート ワークシート、実技演習 学期末におけるテストの評価資料を使用する。 その他、提出物の状況、授業への取り組み、出席状況	

学習計画				評価の観点					
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③			
4	現代社会と健康	1 日本における健康課題の変遷	・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 ・健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解する。	○	◎	○			
		2 健康の考え方や成り立ち	・健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。	○	◎	◎			
		5	3 ヘルスプロモーションと健康に関する環境	・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 ・健康を保持・増進するための環境について理解する。	◎	◎	◎		
			4 健康に関する意思決定・行動選択	・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 ・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。		○	◎		
		6	5 現代における感染症の問題	・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。	○	◎	◎		
			6 感染症の予防	・感染症予防の三原則について理解する。 ・感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。	○	◎	◎		
		7	7 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	○	◎			
8	現代社会と健康	16 精神疾患の特徴	・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。	○	◎	○			
		17 精神疾患への対応	・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。	○	○	◎			
			8 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 ・生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。	◎	○	○		
		9	9 身体活動・運動と健康	・身体活動・運動と健康の関係について理解する。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。	○	◎	○		
			10 食事と健康	・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	○	◎	○		
		10	11 休養・睡眠と健康	・休養・睡眠と健康の関係について理解する。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	○	◎	○		
			12 がんの予防と回復	・がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 ・がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	○	◎	○		
			13 喫煙と健康	・喫煙による健康への影響について理解する。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。	○	◎	○		
		11	14 飲酒と健康	・飲酒による健康への影響について理解する。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。	○	◎	○		
			15 薬物乱用と健康	・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。	○	◎	○		
		12	安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。	◎	◎	○	
				2	2 交通事故防止の取り組み	・交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 ・交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。	◎	○	○
					3 安全な社会の形成	・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。	○	◎	○
				4	4 応急手当の意義と救急医療体制	・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	◎	○	○
					5 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ・心肺蘇生法ができるようになる。	◎	○	○
3	6 日常的な応急手当			・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	◎	○	○		

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	3	1	男子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見付け、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルールの工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むようとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。

評価方法
授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子 その他、提出物の状況、出席状況

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気持ちよく関わったりする。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
6	水泳	クロール・平泳ぎ	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようにする。さらに、計画的な練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	スポーツの歴史的発展と多様な変化	・スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、その理念が時代に応じて多様に変容してきたことを理解する。近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解する。	○	◎	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
11	球技	ネット型	ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	○	◎	◎
12	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高深さ	・オリンピック、パラリンピックを通じたスポーツの価値とドーピングの防止について理解する。 ・スポーツを「みる、支える」視点から取り上げ、スポーツと関わる経済活動に求められるスポーツの価値の遵守について、自己の考えを深めることができる。	○	◎	○
1	体づくり運動	体ほぐしの運動	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気持ちよく関わったりする。	◎	○	◎
	陸上競技	長距離走	・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。	○	◎	◎
2	球技	ゴール型	・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりする。攻撃の際は、味方から離れる動きや人のいない場所に移動する動きなど、連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。守備の際は、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間をカバーして守る動きを行う。	○	◎	◎
3	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	スポーツの環境や社会にもたらす影響	・スポーツに関わる人々の増加は、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになってきていることを理解する。また、スポーツを行う際には、提供者・利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについても理解する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	3	1	女子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

<p>科目の目標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見つけ、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルールへの工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むようとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。
評価方法	
授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を發揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子 その他、提出物の状況、出席状況	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
6	水泳	クロール・平泳ぎ	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようにする。さらに、計画的練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	スポーツの歴史的発展と多様な変化	・スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、その理念が時代に応じて多様に変容してきたことを理解する。近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解する。	○	◎	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
11	球技	ゴール型	・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりする。攻撃の際は、味方から離れる動きや人のいない場所に移る動きなど、連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。守備の際は、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間をカバーして守る動きを行う。	○	◎	◎
12	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高深さ	・オリンピック、パラリンピックを通じたスポーツの価値とドーピングの防止について理解する。 ・スポーツを「みる、支える」視点から取り上げ、スポーツと関わる経済活動に求められるスポーツの価値の遵守について、自己の考えを深めることができる。	○	◎	○
1	体づくり運動	体ほぐしの運動	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。	◎	○	◎
	陸上競技	長距離走	・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。	○	◎	◎
2	球技	ネット型	・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	○	◎	◎
3	体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	スポーツの環境や社会にもたらす影響	・スポーツに関わる人々の増加は、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになってきていることを理解する。また、スポーツを行う際には、提供者・利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについても理解する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	保健	1	2	クラス単位

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

<p>科目の目標</p> <p>保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	
授業中における生徒の反応や授業ノート ワークシート、実技演習 学期末におけるテストの評価資料を使用する。 その他、提出物の状況、授業への取り組み、出席状況	

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	①	②	③
4	生涯を通じる健康	1 思春期と健康	・思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 ・思春期に起こりやすい健康課題について理解する。	◎	○	○
		2 性意識の変化と性行動の選択	・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 ・性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。	◎	○	○
		3 結婚生活と健康	・結婚生活と健康との関係について理解する。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。	◎	○	○
		4 妊娠・出産と健康	・受精、妊娠、出産と、それに伴う健康課題について理解する。 ・妊娠・出産期にできる母子保健サービスについて理解する。	◎	○	○
		5 家族計画	・家族計画の意義について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身に与える影響について理解する。	◎	○	○
		6 加齢と健康	・加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。 ・若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。	◎	○	○
		7 高齢社会に対応した取り組み	・高齢社会における健康課題について理解する。 ・高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。	◎	○	○
8	生涯を通じる健康	8 働くことと健康	・働くことの意義と働き方の多様化について理解する。 ・働く人における健康問題について理解する。	◎	○	○
		9 労働災害の防止	・労働環境に変化に伴い、労働災害の要因も変化していることを理解する。 ・労働災害を防止するため様々な取り組みについて理解する。	◎	○	○
		10 働く人の健康づくり	・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解する。 ・働く人の健康には余暇の活用など生活に質の向上も重要であることを理解する。	◎	○	○
		1 大気汚染と健康	・大気汚染による健康への影響について理解する。 ・地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。	◎	○	○
9	健康を支える環境づくり	2 水質汚濁・土壌汚染と健康	・水質汚濁による健康への影響について理解する。 ・土壌汚染による健康への影響について理解する。	◎	○	○
		3 健康被害を防ぐための環境対策	・環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。 ・産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。	◎	○	○
		4 環境衛生に関わる活動	・安全な水を確保するために必要な上下水道の整備の現状と課題について理解する。 ・生活環境を保全するためのごみ処理の現状と、今後の課題について理解する。	◎	○	○
		5 食品の安全性と健康	・食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。 ・人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。	◎	○	○
10	健康を支える環境づくり	6 食品の安全性を確保する取り組み	・食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について理解する。 ・食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割について理解する。	◎	○	○
		7 保健制度とその活用	・保健行政の役割について理解する。 ・健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。	◎	○	○
		8 医療制度とその活用	・医療保険の仕組みについて理解する。 ・医療サービスの適切な活用方法について理解する。	◎	○	○
11	健康を支える環境づくり	9 医薬品の制度とその活用	・医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。 ・医薬品は、使用法に関する注意を守り、正しく使う必要があることを理解する。	◎	○	○
		10 様々な保健活動や対策	・日本や世界では、健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。 ・国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。	◎	○	○
		11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。 ・健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。	◎	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	2	男子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見付け、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルールを工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むもうとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。

評価方法

授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み
 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価
 生徒同士による学び合いの会話の様子
 その他、提出物の状況、出席状況

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようになる。また、安全に練習ができるようになる。また、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようになる。	○	◎	○
6	水泳	背泳ぎ・パタフライ	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようになる。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようになる。さらに、計画的な練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害	・運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解する。	◎	○	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようになる。また、安全に練習ができるようになる。また、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようになる。	○	◎	○
11	球技	ネット型	ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	◎	○	◎
12	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	スポーツの技術と技能及びその変化 運動やスポーツの技能の上達過程	・運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになることを理解する。 ・運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法があることを理解する。	◎	○	○
1	体づくり運動	体ほぐしの運動	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。	◎	○	◎
2	陸上競技	長距離走	・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。	○	◎	◎
2	球技	ゴール型	・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりする。攻撃の際は、味方から離れる動きや人のいない場所に移動する動きなど、連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。守備の際は、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間をカバーして守る動きを行う。	○	◎	◎
3	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを理解する。	◎	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	2	女子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見つけ、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルール上の工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むようとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。

評価方法

授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み
 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価
 生徒同士による学び合いの会話の様子
 その他、提出物の状況、出席状況

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付けたり関わり合ったりする。 ・ ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・ 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
6	水泳	背泳ぎ	・ 自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようにする。さらに、計画的練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害	・ 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解する。	◎	○	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・ 運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・ 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
11	球技	ネット型	ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	◎	○	◎
12	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	スポーツの技術と技能及びその変化 運動やスポーツの技能の上達過程	・ 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになることを理解する。 ・ 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法があることを理解する。	◎	○	○
1	体づくり運動	体ほぐしの運動	・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付けたり関わり合ったりする。	◎	○	◎
	陸上競技	長距離走	・ 自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。	○	◎	◎
2	球技	ゴール型	・ ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりする。攻撃の際は、味方から離れる動きや人のいない場所に移る動きなど、連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。守備の際は、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間をカバーして守る動きを行う。	○	◎	◎
3	体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	・ 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを理解する。	◎	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育演習	2	2	自由選択A群

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	なし

<p>科目の目標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

<p>評価方法</p> <p>授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	オリエンテーション 体づくり運動 陸上競技 スポーツについて 考えよう		<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の体力状況を把握し、適した目標の設定、計画の作成、危険を予測し、自己や仲間の健康・安全に配慮した活動をする。 スポーツの魅力について考える。 現代スポーツの問題点を考える。 	○	◎	○
5	球技(ネット型 ゴール型) スポーツの競技力を 向上させよう		<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じたボール操作や用具の操作によって攻防を展開することができる。 競技力向上に必要な基礎知識を知る。 	◎	○	○
6 7	水泳・着衣泳、 救助法など 骨と筋肉の名称 スポーツライフを マネジメントしよう		<ul style="list-style-type: none"> 服を着たまま水に入った場合の対処法や正しい救助方法について理解する。 教科書を使って骨と筋肉の名称を覚える。 自分の身体について知る。 	◎	○	○
9 10 11	ゴルフ		各クラブに応じた特性や、状況に応じたクラブ操作を身に付ける。また、周囲への危険を予測し、健康・安全を確保して活動するなど、ゴルフのルールやマナーを理解する。	○	◎	○
12	陸上競技		<ul style="list-style-type: none"> 心肺機能を高め、自己に適したペースで走ることができる。 			
1	スポーツの指導者 指導実践でコーチ		<ul style="list-style-type: none"> 効果的なスポーツの指導方法を理解する。 実際に指導実践を行い、グループ活動を通してよりよい指導法を理解する。 	◎	○	○
2 3	球技(ネット型 ゴール型 ベースボール型) スポーツクラブに ついて考えよう		<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームに主体的に取り組むことができる。 スポーツクラブ、スポーツキャリアと職業、スポーツと経済の関係について理解する。 	◎	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	3	男子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

<p>科目の目標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>（１）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>（２）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>（３）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見つけ、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルールの工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むもうとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。
評価方法	
授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子 その他、提出物の状況、出席状況	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
6	水泳	背泳ぎ・バタフライ 100mメドレー	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようにする。さらに、計画的な練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論	ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方	スポーツには、乳・幼児期から高齢期に至るライフステージごとに、体格や体力の変化などに見られる身体的特徴、精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴、人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解できるようにする。 生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることを理解できるようにする。	◎	○	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	◎	○
11	球技	ゴール型・ネット型・ベースボール型	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができ	◎	○	◎
12	体育理論	スポーツ推進のための施策と諸条件 豊かなスポーツライフの設計の仕方 豊かなスポーツライフが広がる未来の社会	国や地方自治体は、スポーツの推進のために様々な施策を行っており、人や財源、施設や用具、情報などを人々に提供するなどの条件整備を行っていること、また、スポーツの推進を支援するために、企業や競技者の社会貢献、スポーツボランティアや非営利組織（NPO等）などが見られるようになってきていることを理解できるようにする。 スポーツを、人生に潤いをもたらす貴重な文化的財産として未来に継承するためには、スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり、様々な人々とながたりするなどの可能性がある反面、過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点があることを理解できるようにする。	◎	○	○
1	球技	ゴール型	・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりする。攻撃の際は、味方から離れる動きや人のいない場所に移動する動きなど、連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。守備の際は、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間をカバーして守る動きを行う。	○	◎	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	3	女子

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	新高等保健体育ノート（大修館書店）

<p>科目の目標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>（１）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>（２）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>（３）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	各種運動の行い方を理解し、自己の能力に適した課題を見つけ、課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫しようとしている。ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践につなげ、自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見つようとしている。
② 思考・判断・表現	各種の運動についての多様な楽しみ方や目的を共有し、運動課題等とその解決方法を仲間と共有したり、解決に向けて助け合ったり教え合ったりしながら仲間を認め合い、励まし合うことをしようとしている。また、言語活動の充実やICTの活用等を通して、自己や仲間の学びを理解するとともに、他者との違いに配慮しながらルールへの工夫等を通して協働的に学ぼうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動やスポーツの楽しさや喜びを見つけるとともに、その価値を見出し、自己の目標を持ち、課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組むようとしている。そして、学習を振り返り、課題の修正をしたり、新たな課題を設定したりしている。また、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。
評価方法	
授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子 その他、提出物の状況、出席状況	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	◎	○	◎
5	陸上競技	短距離走・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようになる。また、安全に練習ができるようになる。また、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようになる。	○	◎	○
6	水泳	背泳ぎ 75mメドレー	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようになる。互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようになる。さらに、計画的な練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	◎	○	◎
7	体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方	ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方	スポーツには、乳・幼児期から高齢期に至るライフステージごとに、体格や体力の変化などに見られる身体的特徴、精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴、人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解できるようにする。 生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることを理解できるようにする。	◎	○	○
9	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画	・運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践	○	◎	◎
10	陸上競技	短距離走・リレー・跳躍・投てき	・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようになる。また、安全に練習ができるようになる。また、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようになる。	○	◎	○
11	球技	ゴール型・ネット型・ベースボール型	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	◎	○	◎
12	体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方	スポーツ推進のための施策と諸条件 豊かなスポーツライフが広がる未来の社会	国や地方自治体は、スポーツの推進のために様々な施策を行っており、人や財源、施設や用具、情報などを人々に提供するなどの条件整備を行っていること、また、スポーツの推進を支援するために、企業や競技者の社会貢献、スポーツボランティアや非営利組織（NPO等）などが見られるようになってきていることを理解できるようにする。 スポーツを、人生に潤いをもたらす貴重な文化的財産として未来に継承するためには、スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり、様々な人々とつながったりするなどの可能性がある反面、過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点があることを理解できるようにする。	◎	○	○
1	球技	ネット型	ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコート上の空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	○	◎	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	スポーツⅡ	2	3	自由選択D群

使用教科書	副教材等
新高等保健体育（大修館書店）	なし

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
② 思考・判断・表現	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
評価方法	
授業中における生徒の反応やワークシートへの取り組み 授業内で身に付けた技能を発揮した程度やスキルテストによる評価 生徒同士による学び合いの会話の様子	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動					
5	球技 (ベースボール型)		バット操作やボール操作では、バッティング、バント等の技術を用いて、打ち返す方向をコントロールしてヒットをねらったり、中間の進塁をサポートしたりして得点につなげる攻撃と、フライやゴロに対する捕球動作と送球動作などの守備ができる。ボールを持たないときの動きでは、攻撃では、離塁やタッチアップ等の技術を用いて次の塁をねらう動きによって進塁することを、守備では、打球に応じた守備位置の移動や仲間と連携して中継プレイやバックアップをするための動きができる。	○	◎	○
6	球技 (ネット型)		ボールや用具の操作では、サービス、レシーブ、スマッシュ、カットなどの技能を用いて、返球場所をコントロールしたり、緩急や前後の空間への返球、ボールの回転の変化などによって、体勢を整えたり、相手のすきを突いたりして攻防を展開することができる。ボールを持たないときの動きでは、空間を埋めたり仲間をサポートしたりする動きによって仲間と連携して攻防を展開することができる。	○	◎	○
9	ゴルフ		各クラブに応じた特性や、状況に応じたクラブ操作を身に付ける。また、周囲への危険を予測し、健康・安全を確保して活動するなど、ゴルフのルールやマナーを理解する。	○	◎	○
10						
11						
12	球技 (ゴール型)		ボール操作の動きでは、ドリブルやパス、ボールを保持したランニングなどによってボールを保持したり相手をかわしたりして攻防を展開することができる。ボールを持たないときの動きでは、パスを受けるために空間に走り込んだり仲間をサポートしたりする動きによって、組織的に攻防を展開することができる。	○	◎	○
1						
2						
3						